

～ 構成団体 ～
 連 合 長 崎
 県平和運動センター
 同盟友愛連絡会
 県中連懇話会
 労働金庫
 全 労 済
 県生活協同組合連合会



一 発 行 所 一
 長崎県労働者福祉協議会
 〒850-0031
 長崎市桜町9-6
 長崎県労働福祉会館内
 ☎ 095-811-6131
 roufuku-nagasaki@io.ocn.ne.jp
 発 行 日 隔 月 1 日
 発行責任者 松尾清弘

ろうきん・全労済・労福協合同研修会開催!



基調講演する「高橋 均」講師

▲県労福協は、10月29日(土)14時～17時30分まで、ホテル「セントヒル長崎」において87名の参加者の中、標記研究集会を開催しました。

開催目的は、労働組合と福祉事業団体が「ともに運動する主体」としての関係の再構築をはかり、組合員の利用促進や共助拡大につなげ、みんなで労働者福祉事業を利用し、共助の輪を地域に広げる取り組みの一環です。

内容は、一部が「歴史から学ぶ労働運動・労働者福祉運動の理念と課題」と題して、中央労福協(前事務局長)アドバイザー「高橋均」氏による基調講演を受けました。

第二部では、高橋講師をコーディネーターとしてパネルディスカッションを開催し、パネラーには渡邊秀典氏(全駐労書記長)、松尾憲一氏(三菱長崎機工労組執行委員長)、佐々木信行氏(全日通労組書記長)、宮本洋氏(五島市職組委員長)、豊村寿人氏(西肥自動車労組書記長)に登壇いただき、①自己紹介と労金、全労済への関わり方・きっかけ等、②各組織の取組報告・課題と改善に向けた方向性・方策について、③「共に運動する主体として」決意を述べていただきました。

今回の企画は、県下の労働組合役員の方に参加いただき、労働運動・労働者自主福祉運動の歴史・理念、課題等、理解していただき福祉事業団体(全労済・ろうきん)の利用促進に繋げていくことを目的

に開催したものです。

研修会終了後、参加者の皆さんよりアンケートを取らせていただき、労金・全労済に対する意見・要望や研修会運営等での要望・改善点など貴重な意見をいただく事が出来ました。



パネルディスカッションのメンバー

南部労福協視察研修実施!

▲南部労福協は10月11日～10月12日に2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地の現地視察を行いました。今年4月に発生した《熊本地震》で被災された人たちに対し南部労福協としての復興支援について「何をすれば良いのか、何が出来ののか」を考える為の視察でした。

一日目は、南相馬市職労より「発生当時の行政の対応」等の状況報告をしていただき、その後福島県労福協との意見交換を行いました。

二日目は、相馬郡飯館村の除染現場視察(車窓から除染作業を見て)やオフサイトセンター(南相馬市)内の視察(現地での説明を受けて)の後、浪江町の津波現場視察しながら国道を南下しました。ほとんど車中(車が停止も不可)からの視察で、福島第一原子力発電所に近い地域では、車中の中でも放射線量が《5.0》を超える場所もありました。震災から5年7カ月が過ぎた今でも復旧・復興が進んでいないことを認識させられる視察でした。

南部労福協研究集会開催される!

▲南部労福協は10月26日13時30分～27日12時まで、熊本市「ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ」において126名の参加者のもと「2016年度研究集会」が開催されました。長崎からは12名が参加し、一日目は下記の内容で講演を受け、二日目は現地視察（熊本城被災状況視察）を行いました。

▲【講演Ⅰ】

テーマ「生活困窮者の支援活動の紹介から

見えてくる課題」について

NPO法人子ども支援塾・ステップ理事長「嶋本勝博」氏を講師に招き、生活困窮者の支援・ホームレスの支援活動等経験談を踏まえて「共に生きる」支援に対する理解を深めました。

▲【講演Ⅱ】

「生活困窮者自立支援制度の取組み」について

熊本県健康福祉部長寿社会局社会福祉課「桑原博史」氏より、生活困窮者自立支援法の施行に向けて、①県としてやるべきこと②任意事業の広域実施③制度定着への取組み④今年度チャレンジしたいこと⑤熊本地震への対応等について詳しく学ぶことができました。

▲【講演Ⅲ】

「防災スペシャリストになる！」

ー防災とは? どうすればいい?ー

熊本県危機管理防災企画監「有浦隆」氏からは、「防災とは何か?どのように準備・対応すれば良いのか?」前職（自衛隊：連隊長）時代の災害対応体験談や熊本地震への対応等、防災の3段階（予防・応急対応・復旧）について、詳しく講演していただき、「自助：自分の身は自分で守る、共助：地域単位で協力すること」の重要性を再認識した研修でした。

2016年度 長崎県に対し、勤労者福祉の充実・強化を求め「要請書」提出

▲県労福協は11月8日(火)11時00分～長崎県庁会議室にて「2016年度 勤労者福祉の充実・強化」を求め、長崎県に対し主要7項目「①連帯経済を促進する協同組合の促進・支援、②大規模災害時の被災

者支援と復興・再生策、③格差・貧困社会の是正、ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化、④多重債務等対策、⑤消費者行政の充実強化、⑥中小企業勤労者の福祉格差の是正、⑦くらしの安全・安心の確保などについて」の内容で「要請書」を提出しました。



要請書を手交する佐竹企画政策委員長と
村崎県雇用労働政策課参事

長崎県労働者スポーツ大会開催!!

優勝は三菱長船管理部



優勝チームへの贈呈

▲県労福協は10月23日(日)諫早総合運動公園（野球広場）において、第33回長崎県スポーツ大会（グラウンドゴルフ大会）を開催しました。県下各地より雨の中219名の参加で開会しました。

成績：優勝＝三菱長船管理部（同盟友愛連絡会）、準優勝＝全労済B（全労済）、3位＝三菱長船香焼部（同盟友愛連絡会）

労福協チャリティゴルフ大会 募金148,081円集る!

▲県央地区は10月18日長崎国際ゴルフ倶楽部において第9回チャリティゴルフ大会を開催し73名の参加でした。一方、県北地区は第5回大会を11月10日佐世保カントリークラブ



優勝：作元孝明氏
(J P 労組長崎連協)

で開催し、24名参加でした。参加者の好意により県央地区で96,981円、県北地区で51,100円の合計148,081円がチャリティ募金として集まりましたので「長崎県障害者社会参加推進センター」に寄贈します。

成績は、県央地区が優勝／作元孝明氏（J P 労組長崎連協）／準優勝：山下金守氏（同盟友愛連絡会）／3位／押方秀之氏（県職本部）。

県北地区は、優勝：野原秀昭氏（西肥自動車労組）、準優勝：土井正秋氏（SSK O B 会 9 3 位：長野雄一郎氏（佐世保市職労）。



3位：長野氏、優勝：野原氏、2位：土井氏

各地区労福協だより

連合地協・諫早地区労福協共催 アジア・アフリカ支援米（稲刈り）



▲10月10日(月)10時から連合長崎諫早・島原地協と諫早地区労福協の共催により、諫早市平山町にお

いて、アジア・アフリカ支援米の諫早地区の稲刈りを実施しました。6月に田植えを行い、早くも4ヶ月がたち稲刈りを実施しました。本年は台風が多く発生し、同じ週にも大型台風が長崎県地方直撃するかもと、心配されたが、幸いにも日本海よりルートで進行した関係で、諫早地区は大きな被害もなく、稲刈りを実施することが出来ました。参加者45名、大人27名・小人18名と過去にも例を見ない参加者の下、稲刈りを実施し無事に終了しました。

諫早地区労福協 第19回定期総会開催!!



提案する 全労済諫早地区担当 木村職員

▲2016年10月28日(金) 諫早地区労福協第19回定期総会を代議員36名中30名が参加し開催されました。冒頭大木会長は労働福祉団体の必要性についての挨拶がありました。

総会終了後に労金、全労済より取り組み等の報告提案が行われました。

五島地区労福協定期総会開催!!

▲五島地区労福協は、10月19日(水) ≪福江福祉保健センター研修室≫において「第25回五島地区労福協定期総会」を開催しました。大会当日は、谷川会長の挨拶・来賓挨拶のあと、2015年度一般経過報告、会計報告、会計監査報告と2016年度運動方針案及び予算案が承認され、スローガンの採択・一部役員の変更確認後、閉会挨拶で、労福協運動の盛り上がりを確認し大会を終了しました。

▲11月20日(日)に、労金下五島地域推進イベント「みかん狩り&抽選会」が連合五島地協・五島地区労福協協賛のもと≪雨通宿ミカン園≫において開催され、天候にも恵まれ300名を超す参加者で大いに賑わいました。



各地区労福協定期総会開催!!

●各地区労福協とも、2016年度運動方針など全議案が全員一致で確認されました。

▲大東地区労福協は、10月14日(金)《大村市勤労者センター》において「第20回定期総会」を開催しました。

▲佐世保地区労福協は、11月16日(水)《佐世保労働福祉センター》において「第28回定期総会」を開催しました。

▲対馬地区労福協は、11月18日(金)《対馬市役所別館2階》において「第16回定期総会」を開催しました。

▲長崎地区労福協は、11月24日(木)《九州ろうきん長崎支店4階会議室》において「第24回定期総会」を開催しました。



長崎地区労福協 酒井会長挨拶

▲上五島地区労福協は、11月25日(金)《新上五島町石油備蓄記念会館2階研修室》において「第16回定期総会」を開催しました。

▲島原地区労福協は、11月28日(月)《九州労金島原支店3階会議室》において「第20回定期総会」を開催しました。

事務局だより

●奨学金第3ステージ! 奨学金アピール賛同要請 取組中!!

▲“奨学金制度”の改善と“給付型奨学金制度”の実現に向けた「賛同要請」取組中です。

- ・11/28 連合長崎と県議団(改革21)との定例会議前に「奨学金アピール賛同要請」を行いました。
- ・11/29 連合長崎地協と市議団(市民クラブ)・西海市議・時津町議・長与町議との政策連絡会前に「奨学金アピール賛同要請」を行いました。



1. 九州ろうきん長崎支店駐車場で開催された長崎地域推進委員会イベント「ろうきんまつり」の出店コーナーで、はじめて販売された食べ物は○○○○○○○です。○○○○○○○に入るひらがなカタカナ7文字は何でしょうか?
2. 全労済長崎県本部では2016年度下期推進強化策として「自動車保障と○○○共済」の保障点検活動を実施します。(ヒント5ページ)

◎クイズの答えはハガキかFAXで、〒・住所・氏

名・職場名を明記し県労福協へ送付ください。

- ◎締切日は1月20日(金)(当日消印有効)
- ◎当選者10人の方に「お楽しみプレゼント?」をお送りします。正解者多数の場合は抽選で決めます。
- ◎送り先

〒850-0031 長崎市桜町9-6 勤労福祉会館内
長崎県労福協クイズ係

◎FAX (095) 811-6132

◎前月号当選者(敬称略)

本山 直美(大村)	熊谷あゆみ(大村)
松田久美子(大村)	小林みどり(大村)
東川 和彦(諫早)	川村安須香(長崎)
浦田政登志(大村)	朝長 由美(大村)
若菜 はる(長崎)	三根凜太郎(長崎)

全労済長崎県本部 2016 年度下期推進強化策

--自動車保障・自賠責共済の保障点検活動について--

12月5日(月)開催の第1回県推進会議において、下期推進強化策として自動車保障・自賠責共済の保障点検活動の取り組み強化を行っていくことが確認されました。

普段の生活や会社通勤などで日頃から使用しているお車の保障が十分な保障の備えがされているか、また自動車に関わる保障をしっかりと付帯されているか等アンケートチラシなどを用いて組合員皆さまの保障点検活動につなげていきます。



1. マイカー共済見積り誘導の取り組み

- ① 協力団体・組合員の皆さまへ保障内容の点検と必要な見直しに向けて、マイカー共済見積もり誘導の取り組みを行います。
- ② マイカー共済見積もり誘導の取り組みにより、自動車や自動二輪、原付バイクの保障未加入者が発生しないよう、協力団体とともに組合員の皆さまへ自動車保障証券写しのご提出のお声かけ運動を行います。
- ③ ご提出いただいた自動車保障証券写しの内容をもとに、最適な保障内容についてご提案をさせていただきます。また、保障満期日にあわせての保障見積書・パンフレットの配布などの再案内を行い、保障内容の見直し検討にむけた活動を展開します。



2. 自賠責共済満期アンケートチラシの取り組み

- ① 協力団体・組合員の皆さまへ自賠責共済(保険)の付帯有無の点検やお車の任意保障と連動した推進活動に向けて、自賠責共済アンケートチラシ提出活動のお声かけ運動を行います。
- ② ご提出いただいたアンケート内容およびマイカー共済の車検・自賠責情報をもとに、車検満了日・自賠責満期日にあわせた案内を行います。案内時には協力団体とともに組合員の皆さまへお声かけなどの連携により、保障期間が途切れないよう継続加入につなげていきます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

【お問い合わせ先】 下記の全労済長崎県本部各支所へ

■ 長崎支所

長崎市宝栄町3番15号

TEL (095)864-7144 FAX (095)862-8127

■ 佐世保支所

佐世保市城山町1番22号

TEL (0956)25-8012 FAX (0956)22-7292

長崎支店・長崎地域推進委員会（青年・女性推進委員会）主催

11.19「ろうきんまつり」を開催!!



11月19日(土)、九州ろうきん長崎支店駐車場にて、長崎支店長崎地域推進委員会主催の「ろうきんまつり」が開催されました。

本イベントも6回目の開催を迎え、すっかり毎年の恒例行事として会員・地域に浸透しています。

イベント当日は、雨の予報でしたがなんとか雨も降り出さずスタート。餅つきの最中、急な雨により一時中断する場面もありましたが、その後は晴れ間もでて、会員組員やその家族、ろうきん友の会のみなさんをはじめ近隣地域の方々約600名が来場し、大いに賑わいました。



(「ヨイショ!」の掛け声に合わせて餅つき初体験の山王保育園の子どもたち)

盛況で時間が経過するごとに完売するコーナーが続々とできました。無料の綿菓子コーナーも大人気でした。カンパ金は高校生平和大使等へ寄付をする予定にしています。

また、出店コーナー以外にも高校生平和大使による署名活動や、NPO法人「長崎 Life of animal」による保護犬とのふれあいコーナーや募金活動も行われました。さらに城山勤労協の協力で「餅つき」を行い、保育園児をはじめ高校生平和大使の皆さんも初めて「餅つき」を体験し、子供たちの元気な掛け声に包まれました。

本イベントでは、推進委員会、地域の方々の協力によって、会員や地域との繋がりを深めることができました。今後も会員組員の皆様や地域の方々に「きっと」「もっと」「ずっと」お役に立てるように、「ふれあい」と「つながり」を大事にし、今後さらなるろうきん運動の推進を図っていきます。



(開会挨拶する山口推進委員長・進行役員の皆さん)

ステージコーナーでは、予定

していた西方小天鼓による太鼓演奏が天候の影響で中止になったのは残念でしたが、山王保育園のお遊戯、ダンスチームによるダンスパフォーマンス、高校生平和大使による平和アピール、NPO団体「長崎 Life of animal」によるアピール、青年女性推進委員会のお菓子掘り大会など、幅広い年齢層・団体の参加によりまつりを盛り上げました。

出店コーナーでは、から揚げ・焼きそば・カレー・焼き鳥・ワイン・カクテルや、はじめての試みであるフライドポテトが販売されました。どのコーナー也非常に



(子どもたちに大人気のツカエルさん)



(保育園児・高校生平和大使の皆さんがついた餅は包装して餅まきに…「おい、こっちにも投げて!!」)



「私たちの平和運動と1万人署名のご協力をお願いしま〜す!」と、アピールする高校生平和大使の皆さん)